



CHAPTER 5

ビデオ エンドポイントのモニタリング

Endpoint Monitoring ダッシュボードには、すべての管理対象ビデオ エンドポイントの詳細が表示されます。任意の管理対象エンドポイントを監視リストに追加して、さらにトラブルシューティングできます。

ページの左側にある [Device Group] ペインを使用して、デバイス タイプに基づいてエンドポイントをフィルタリングすることができます。詳細については、『Cisco Prime Collaboration 9.0 Device Management Guide』を参照してください。

表 5-1 に、Endpoint Monitoring ダッシュボードに表示されるペインを示します。

表 5-1 Endpoint Monitoring ダッシュボード

ペイン	説明
Endpoints Summary Metrics	次の詳細を提供します。 <ul style="list-style-type: none">管理対象エンドポイント未登録のエンドポイント現在使用中のエンドポイントアラームのあるエンドポイント監視リストに追加されたエンドポイント
List of Endpoints	すべての管理対象エンドポイントに関する詳細情報を表示します。エンドポイントの登録、使用状況、および可視性のステータスを確認するには、このペインを使用できます。
Endpoints Details	選択したエンドポイント タイプに基づいて次の詳細を提供します。 <ul style="list-style-type: none">システム情報ペリフェラル今後 3 日間のスケジュールされたセッションサービスおよびネットワーク インフラストラクチャ

エンドポイントのクイック ビュー

エンドポイントのクイック ビューを起動するには、[List of Endpoints] テーブルの [Usage Status] 列 (ステータスが「In Use」のエンドポイントのみ) または [Endpoint Name] 列にあるクイック ビュー アイコンの上にマウス ポインタを合わせます。

[Usage Status] 列から起動したクイック ビューには、題名、スケジューラ、セッション ステータス、トラブルシューティング ステータス、セッション タイプ、構成、開始時間、残り時間などのセッション詳細が表示されます。選択したエンドポイントの [Session Monitoring] ページをクイック ビューから起動できます。

[Endpoint Name] 列から起動したクイック ビューには、システムの稼働時間、デバイスのタイプ、デバイスのモデル、ソフトウェアのタイプ、ソフトウェア バージョン、電話番号、アラームの重大度、およびアラーム メッセージなど、エンドポイントに関する詳細情報が表示されます。

エンドポイントのクイック ビューでは次のような処理を実行できます。

- [Add to Watch list]: 監視リストにセッションを追加できます。これは、[Not In Use] と [In Use] の両方のエンドポイントでイネーブルにされます。
 - [Not In Use] エンドポイントでは、トラブルシューティングは、エンドポイントがセッションに参加するとすぐに開始されます。
 - ステータスが [In Use] であるエンドポイントに対しては、ただちにトラブルシューティングが開始されます。

エンドポイントを監視リストから削除するには、[Remove from Watch List] リンクを使用します。

- [See Alarms]: エンドポイント アラーム ブラウザを起動できます。アラーム ブラウザには、選択したエンドポイントのすべてのアラームが表示されます。

[Usage Status] 列から起動したクイック ビューに表示される詳細情報については、「[360° Session ビュー](#)」(P.6-9) を参照してください。



(注)

Polycom エンドポイントは Cisco VCS に登録されている場合だけをモニタされます。Polycom コールコントローラに登録されたときにはモニタされません。自動コール検出は HTTP フィードバックを使用してサポートされます (Cisco VCS を使用します)。セッションの統計情報、セッション情報などのリアルタイム モニタリング情報はサポートされていません。
